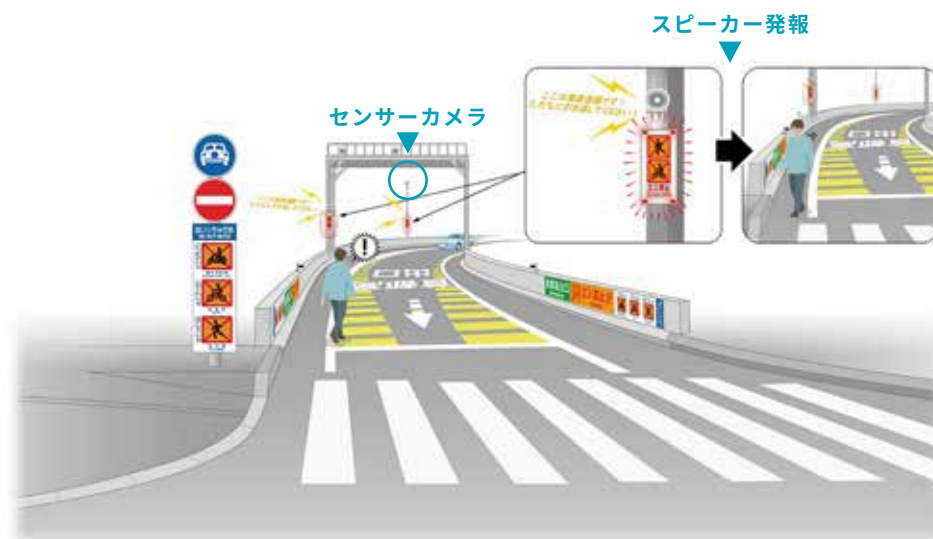
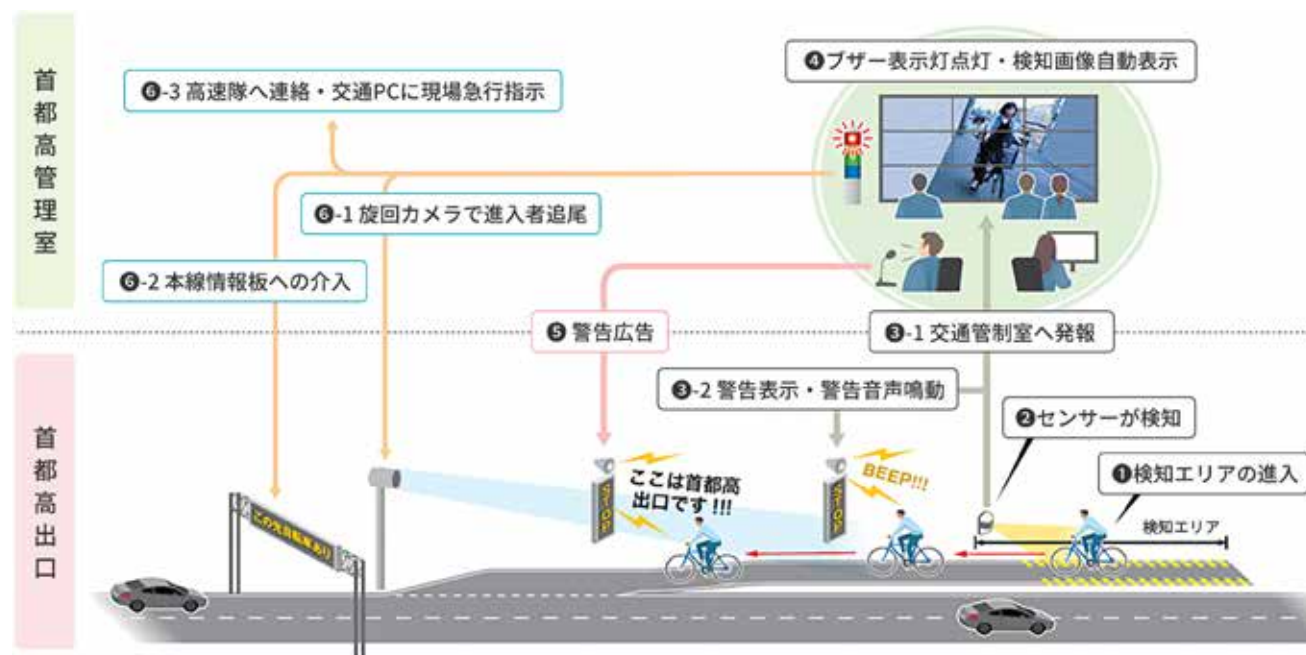


安全・安心への取り組み・防災対策

立入、逆走検知・警告システム

首都高では年間 400 件以上の誤進入が発生しています。この課題を解決するため、2017 年から一部の出入口に、歩行者・自転車などの立入や出口から進入した逆走車を自動的にセンサーで検出をして警告を発する立入、逆走検知・警告システムの整備を進めています。



立入、逆走検知・警告センサー

センサーは、カメラ画像を画像処理認識する方式と、レーザーセンサーで立入を検出する方式の2タイプを導入しています(2025年現在)。センサーで、立入・逆走を検出すると、立入や逆走をした人に警告表示板とスピーカーによる音声で引き返すよう警告しています。

また、検出と同時に、交通管制室に設置している専用端末でのアラームおよび大型ディスプレイに現地のCCTVカメラ映像がポップアップされ、管制員の迅速な状況把握と、パトロールカーを向かわせる等の対応が可能となります。